

シルバー人材センターが奉仕作業

10月22日、小林市シルバー人材センター会員による奉仕作業が行われました。会員ら約350人が参加し、21班に分かれてごみ拾いや除草作業などを行いました。



紅葉色づく県道1号で植樹祭

10月26日、県道1号みどりのトンネル植樹祭が行われました。事業所や市民ら約200人が参加。参加者は、県道1号線の王司橋から展望所までの約7kmの区間で、道路沿いの樹木の枝を除伐や清掃などを行いました。



食を支える家畜に感謝

10月26日、小林市食肉センターで畜魂法要が行われました。関係者や同センター職員など約100人が参列。参列者は私たちの食を支えるために命を捧げた家畜に焼香し、手を合わせました。



福祉バザーが大盛況

10月29日、市民体育館で福祉バザーが開催されました。開場と同時に、館内は買い物客の熱気で大賑わい。駐車場スペースでは焼き鳥などの販売も行われました。



小林市立図書館が文部科学大臣表彰授章

10月29日、小林市立図書館が文部科学大臣表彰を授章しました。これは、子どもの読書活動に寄与した団体を表彰するもの。山下町子館長は「これを励みに読み聞かせなど地域の皆さんと活動を続けたい」と喜びを語りました。



【写真上】剣舞「一の谷」
【写真右】城攻め踊り

伝統芸能の継承と発展を願って九州地区民俗芸能大会

10月30日、文化会館で九州地区民俗芸能大会が開催されました。大会には九州各県から12団体が出演。小林市からは紙屋小学校文化財愛護少年団「城攻め踊り」と、「剣舞一の谷」麓区保存会が出場し、地域に受け継がれる伝統芸能を勇壮に舞いました。



小林市地域包括支援センター前田隆一センター長は「大会で学んだことを、家庭や地域、サロンなどで実践してほしい」と話していました。

筋力の維持で転倒予防を。ゴールデンエイジ大会開催

10月30日、小林市民体育館で介護予防に対する意識向上を図る第6回ゴールデンエイジ大会が開催されました。講師のNPO法人ヘルスプロモーション西田俊輔さんが、体力維持につながる体操などを紹介。「筋力を保つために普段から体を動かすように」と日常的な運動の継続を勧めていました。

宮崎ツアーサービス初優勝 宮日早起き野球県大会



10月22日、宮日早起き野球県大会の準決勝・決勝が行われ、小林市代表の宮崎ツアーサービスが初の栄冠を手に入れました。一回戦からエース長崎勇樹投手を中心に投手陣が安定した投球を披露。打線がそれに応え、チャンスを活かし着実に得点します。準決勝では長崎投手が無四球完封。決勝戦では、長崎、

原田憲治、年見昭範投手の投手リレーで完封し快勝しました。

宮崎ツアーサービスはチーム結成13年目、3回目の県大会出場で悲願の初制覇。川野雄介監督は「礎を築いてくれた先輩や、支援していただいた皆さんのおかげ」と周囲の支援に感謝の気持ちを語りました。

魅力あふれる出店に1万人。大こばやし展物産フェア

10月23日、大こばやし展物産フェアがのじりこびあで開催されました。口蹄疫で打撃を受けた市内の中小企業支援を目的に開催され、売り場テントには50業者が出店に参加。特設ステージでは6団体によるダンスなども披露され、市内外から訪れた約1万人が買い物を楽しんでいました。



9月から市内6箇所の観光地を巡るスタンプラリーも開催。スタンプを集めた観光客を対象に、会場で抽選会も行われました。



後藤代表は「物を大切に作る心の育成や、子どもが喜び姿を見ることで達成感を得ることができる」と魅力を説明していました。

小林市での開院を目指しておもちゃドクター・ナースを養成

10月23日、壊れたおもちゃをボランティアで修理するおもちゃドクター・ナース養成講座が小林中央公民館で開催されました。ボランティア団体おもちゃ病院みやざき（後藤俊一代表）の主催で、小林市での開催は初。11人が参加し講話や実習を通しておもちゃ病院について学びました。